

仕事楽しい人 F i l e . 4 3 : 斎藤伸明さん (按摩・マッサージ・指圧師)



◆自分にできることは何でもする行動力

「平堀さん、右のふくらはぎが張っていると言っていましたが、左の方が張っていますよ。張りの原因は、足の指が固いから。特に親指。
走っている時に母指球から降りているのですが、疲れてくると親指が固いため、足の外側に体重がかかり、ふくらはぎに余計に負担がかかる。
だから、まずは、足の指のストレッチを毎日行ってみてください。」

この会話から、御察しの通り、
今回、ご紹介する仕事楽しい人は、按摩・マッサージ・指圧師の斎藤さんです。

斎藤さんは大学1年生の時に野球部の先輩から「マネジャーをしろ」と命じられたことがきっかけとなり、今の仕事に就きました。
六大学に名を連ねる伝統のある野球部には厳しい習わしがあり、
選手としてやっていけないと判断されると、その時点でマネジャーになるよう言い渡されるのだそうです。
斎藤さんは、選手を続けたいと食い下がりましたが決定は覆りませんでした。

先輩からは、「マネジャーだってやり遂げれば、良い企業に就職できるぞ」と言われましたが、斎藤さんには、スポーツに関わる仕事をしたいという夢がありました。

斎藤さんはきっぱりと野球の道をあきらめて、大学2年になると、ある知人の紹介で、

スポーツマッサージの礎を築いた先生の療院に、見習いとして働きだしました。

マッサージの専門学校にも入学していない斎藤さんは、患者さんの体には触れられません。できることは、フェイスタオルの交換や、マッサージベットのカーテンの開け閉めのような雑用ばかりです。

斎藤さんは、師匠の先生の先回りをして、気がついた雑用を次々に片付けていきます。

「先生、こちらのベッド整えておきました」

という感じで、大きく元気な声で、師匠に報告していきます。

師匠から指示が出される前に、自ら機敏に動く。

斎藤さんは、この時に、

「師匠に助かったなと思ってもらえれば、マッサージの極意も教えてもらいやすくなる」と考えていました。

斎藤さんが、マッサージ師の資格を取った後に、

あるプロ野球選手（高校野球では夏春優勝投手、人気球団で活躍した、誰もが知っている有名人ですが、守秘義務があり公表できません）が、メジャーへの挑戦で渡米した際に、帯同トレーナーを務めるチャンスが巡ってきました。

斎藤さんは、この時も、この選手の目標を叶えるために、食事作りから車の運転などマッサージ以外の雑用を率先してこなしました。

斎藤さんは、自分にできることは何でもする行動力により、

大学時代に師事した先生から認められ、スポーツマッサージの基礎の習得とプロ野球選手に出会う機会を与えてもらえました。

そして、プロ野球選手にも、自分にできることは何でもする行動力により、

信頼を得て、続々と他のプロ野球選手を紹介してもらえました。

私が、

「斎藤さんの非凡さは、“自分にできることは何でもする行動力”なんだな」

と、理解し出した時に、斎藤さんが、こんなことを言い出しました。

「そうそう、平堀さん、マッサージの仕事に就いて間もなく、整形外科に通院しても痛みがとれないと訴える患者さんが多いことに気づいたんですよ。」

この気づきを得た斎藤さんが取った行動は？

この答えはすぐにわかります。

そうです。

斎藤さんは、整形外科の処置の実際を学びに整形外科に勤めたのです。

◆斎藤さんが大切にしているキーワード

温故知新

マッサージ治療にも新しい技術が導入されているが、それは昔の技術を否定するものではなく、昔の技術を土台として発展していることなので、昔の技術も重んじています。

◆斎藤さんのパワー○○

食欲を満たすこと（欲に素直に生きること）

健康促進に関連した仕事をしているが、お腹がすいたら、体重のことは気にせずに思いっきり食べます。これがストレス発散の最善策。

◆斎藤さんのコツコツ

禁カレー（大好きなカレーを食べていない）

19歳の時に、ある人の健康回復への願掛けをして以来続けています。

◆お人好し（善し）な斎藤さんの仕事ぶり

斎藤さんに苦労話はと聞いてみました。

するとニコツとしながら、右手の親指と人差し指をくっつけて丸を作りました。

斎藤さんは、資金繰りが大変なようです。

有名なプロ野球選手のトレーナーも務めていて、お客さんには事欠かないだろうと思っていたので、意外な反応でした。

斎藤さんに、そのわけを確認すると、ニコニコしながら、

「頼まれたら嫌と言えないからですかね。」

との答えが。

「例えば、車椅子バスケットの国際試合に帯同することがあるんですが、アマチュア団体は資金に余裕がないじゃないですか。すると、渡航費くらいしか予算がないんだけどなんて言われることがあるんですよ。だからって、断れないですよ。」

「ほかの例ですか、そうですね。あるプロ野球選手からの依頼でキャンプに帯同したのですが、ブルペンキャッチャーが足りないから、お前やってくれと監督に言われて、マッサージはそっちのけで、球を受けていました。」

ところで、今回、私が斎藤さんを知ったのは、今年で3回目の参加となる、宮ヶ瀬湖24時間リレーマラソンに専属トレーナーとして帯同していただけると、私の知人から紹介してもらったから。

15人のチームメンバーで1周1.8kmを24時間で何周できるかを競う過酷なレースなので、会場に設置される簡易マッサージには、毎年、長蛇の列ができます。

今年は、2チーム、30人の参加になるのですが、斎藤さんは、24時間休みなく、我々ランナーをケアしてくれると言うのです。

しかも、破格値で。

こんな条件で、専属トレーナーを務めてくれる斎藤さんってどんな人なんだろうと気になり、“仕事が楽しい人”の取材を申し込みました。

車椅子バスケット、プロ野球のキャンプ、24時間リレーマラソンに帯同する斎藤さんの人柄を言葉にすると、“お人好し（善し）”。人の喜ぶことをするのが大好きな人という意味です。

斎藤さんに夢を聞くと、

「これからっていうスポーツ選手の専属トレーナーをしたいです。

まだ、高校生とか中学生の時から、その選手の体調管理に関わりたいです。」

学生は収入がないので、マッサージ代を取れないのは明白。

ここにも、“お人好し（善し）”の斎藤さんがいます。

そして、斎藤さんがもう一つの夢として結婚を上げ、こう言いました。

「今まで、いい出会いはあったんですが、なかなか結婚に踏み切れないんですよね。

だって、女房に、生活のために仕事をしてよって言われたら、自分の好きなことができなくなっちゃうじゃないですか。」

要するに、斎藤さんは“お人好し（善し）”を貫きたいわけです。

こんな“お人好し（善し）”の斎藤さんに、“お人良し”の奥さんと結ばれたらいいなと思うのは、私だけでしょうか。

◆斎藤さんのプロフィール

職業：按摩・マッサージ・指圧師

所属：パーソナルケア 斎藤 最寄り駅：学芸大学（東急東横線）

携帯電話番号 090-8438-5411

メールアドレス itumono1922@yahoo.co.jp

◆按摩・マッサージ・指圧師とは？

（13歳からのハローワーク公式サイトに掲載されている解説を抜粋しました）

癒しブームのなか、大流行しているマッサージ。そのなかでも国家資格として認定されているのが、あん摩マッサージ指圧師だ。肩こりや腰痛、疲れなど身体の不調を持つ人に対して、あん摩やマッサージ、指圧を行う。あん摩マッサージ指圧師になるためには、国が指定した学校あるいは養成機関で3年以上勉強し、国家試験を受ける。ただしこの試験は学科試験だけなので、合格率も比較的高い。また、試験の科目が重複していることから、はり師ときゅう師の資格もあわせて取る人もいるようだ。あん摩マッサージ指圧師の資格を取得すると、まず治療院などに勤務して、治療経験を積み、その後独立する人が多い。自分の腕や顧客層、立地などの条件によっては、高収入を得ることも。

◆按摩・マッサージ・指圧師に求められる能力

行動力：自分にできることは何でもする

技術力：按摩・マッサージ・指圧の技術

知識：スポーツ全般、栄養学などの専門知識

心意気：この人のために一肌脱ぎたいという思い

オープンマインド：誰とでも本音で話せる開放的な精神